科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：なんとなくも理屈のうち ILAS Seminar :Why don't you enjoy "Kasetsu Jikken Jugyo", Hypothesis-Experiment Class?			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授　　舟橋　春彦		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	理系総合実習室(2共)			使用言語	日本語
キーワード	科学的認識 / 予想 / 実験 / たのしい授業						

[授業の概要・目的]

　仮説実験授業は、一連の問題に対して＜予想＞を出し合い＜実験＞で確かめていく過程を積み上げ、科学を体験的に学ぶ授業です。 みんなで 「予想を立て・その理由を出しあって・どれが正しいのか実験すると、あら不思議！…今まで見えなかった世界が見えてきます。そんな脳ミソが喜ぶ体験」 に浸って、＜科学＞とはどういうものなのか、体得して下さい。

[到達目標]

予想を実験で確かめていくその繰り返しの作業で、ひとの意見も聞いてひとの意見に影響されて、自分の思考が拡がるということを体験する。このとき、自由な発想・発言の大切さを理解する。

[授業計画と内容]

　本講義はフィードバックを含めた全15回で行います。
＜科学上の最も基礎的一般的な概念・法則＞のひとつをテーマにした 《授業書》 と呼ばれるスタイルの教材を３編くらい、ゆっくりみなさんと議論をたのしむ時間をとりながら進めたいと思っています。問題・予想・討論・（予想変更）・実験を積み重ねて行きます、その際、自分で自分の脳ミソを動かすだけでなく、他人の意見がどれほど自分の脳ミソを動かしてくれるか、そのたのしさを十二分に体験して下さい。
　＜予習禁止＞がこのゼミの方針のため、内容は予告しませんが悪しからず。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

毎回出席して主体的にゼミに参加して下さい。
サークル・バイト等でスケジュール調整のむずかしくなりそうな人はご遠慮下さい。
不定期にレポートを書いて貰うことがあります。
ほぼ毎回、小レポートの提出を求めます。
成績評価に関する詳細はゼミの中で説明していきます。

[教科書]

随時プリント配付

ILASセミナー ：なんとなくも理屈のうち(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：なんとなくも理屈のうち(2)

[参考書等]

（参考書）
適宜紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

適時持ち帰り資料を渡し感想を求めることがあります。その日のゼミの印象の薄れないうちに速やかに指示された方法で対応して下さい。

[その他（オフィスアワー等）]

文系歓迎!!　心配無用、高校理科履修状況一切不問。
※　予習禁止！
（自分史上初めて考える未知の問題との出遭いの価値を損なわないために「予習禁止」と掲げていますが、その字面だけで「楽単」と喰い付く短絡した応募はオコトワリします. 遅刻なく毎回の参加を求めます. 勤勉さに不安があればご遠慮下さい.）

＜科学入門教育＞としてこのゼミと「みんなの物理 Ⅰ,Ⅱ」とは互いに共通するところがあり、いずれかを履修してくれれば結構です。重複を避けてより広く自然科学を学ぶことを勧めます。このゼミの選抜に漏れた場合は是非「みんなの物理」Ⅰ,Ⅱいずれかの履修を勧めます。

時間内に終れるように予定は立てますが、ゆったり議論の流れに任せて脳ミソの動きをたのしみたいので、本時の後のスケジュールをキチキチに詰めないことを強く望みます。終わってから余韻に浸ったりするにしても、たまに延長になっても、困らないで済みます。

[主要授業科目（学部・学科名）]